

## 「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第19回研修を開催しました！」

第19回の研修は、令和4年10月21日(金)、22日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の講義は、農具・農機具の手入れ、野菜の防寒対策、前半の研修の振り返り①でした。

農具・農機具の手入れでは、鋤や鎌は、刃を研いで保管すること。ガソリンエンジンの管理機の長期格納では、燃料を空にして格納することなど、メンテナンスの基本を学びました。

野菜の防寒対策では、ビニールトンネルやマルチフィルムなどを使った、初冬や春先での防寒方法を学びました。

前半の研修の振り返り①では、事務局が、本年度の実習野菜の土づくりから収穫までの管理方法等をまとめた「栽培暦」を使って、留意点などを振り返りました。

実習では、ピーマンの片付け、はくさい、ねぎ、にんじん、さといもを収穫しました。

ピーマンは、収穫後、誘引資材と支柱を外し、株を引き抜き、マルチフィルムを剥がし、作物残渣と廃プラなどに仕分けしました。

ねぎは、畦の肩を崩し、上方に根が張っていることを確認してから、収穫しました。

にんじんは、適正な株間では種したところと、密植となってしまったところでは、収穫物の大きさに違いがあることを確認しながら収穫しました。受講生は、は種間隔や、間引きの重要性を再認識したようでした。

さといもは、地上部をのこぎり鎌で刈り取り、スコップを使って掘り上げ、親芋、子芋、孫芋の見分け方を学びながら、選別しました。

なお、ピーマン、さといもなどの作物残渣は、たい肥づくりに使っています。

第20回の研修は、11月4日(金)、5日(土)に、同会場で、次年度作付計画、前半の研修の振り返り②を行う予定です。



講義「前半の研修の振り返り①」の様子



ピーマンの根を観察する様子



さといもを収穫する様子



親芋、子芋、孫芋に選別する様子